

小学校第6学年 国語科 学習構想案

日時 令和元年〇〇月〇〇日 (〇) 第〇校時

場所 〇年〇組教室

指導者 教諭 〇〇 〇〇

1 単元構想

単元名	作品の魅力を推薦カードに書いて伝えよう「海のいのち」(発行者名「教科書名」p.〇〇~〇〇)		
単元の目標	(1) 語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすることができる。 [知識及び技能] (1)オ (2) 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。 [思考力、判断力、表現力等] C(1)オ (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする。 「学びに向かう力、人間性等」		
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	①語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。 ②比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。	①「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。(イ) ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(オ)	①進んで登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉え、学習の見通しをもって、考えたことを推薦カードにまとめようとしている。
単元終了時の児童の姿			
物語を読むときに表現の工夫など、言葉に着目して場面の様子や心情の変化を読み、作品の魅力を伝えようとする児童			
単元を通した学習課題		本単元で働かせる見方・考え方	
「海のいのち」の作品の魅力を推薦カードにまとめ、伝え合おう。		登場人物の行動や会話、情景描写などの言葉に意識的に着目し、心情を考えることを通して言葉への自覚を高めること。	
指導計画と評価計画 (10時間取扱い 本時7/10)			
過程	時間	学習活動	評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」
一	2	○ 作品の魅力を推薦カードに書く体験を通して、推薦する言語活動を行うために必要な学習について見通しをもつ。 ○ 単元の学習計画を立て、物語の構成や内容を確かめる。	【態①】(ワークシート) 【思①】(ノート)
二	6	○ 父の人物像から、太一の心情を読む。 ○ 与吉じいさの人物像から太一の心情を読む。 ○ 母の会話から太一の心情を読む。 ○ クエの描写から太一の心情を読む。 ○ <u>太一の表情の描写から太一の心情の移り変わりについて読む。(本時)</u> ○ あと語りの場面の効果について読む。	★【知①】(ノート) ○ 地の文にある色彩表現、会話文にある比喩などの表現の工夫に気付いている。 ★【知②】(ノート) ○ 登場人物の行動や情景を描写した語句の工夫や変化について理解している。 ★【思①】(ノート・発言) ○ 太一自身やほかの登場人物の描写などから、人物相互の関係や太一の心情を捉えている。 【思②】(ノート・発言)
三	2	○ 作品の魅力を伝える推薦カードを書き、相手の求めに応じた推薦カードを紹介し合う。 ○ 単元で身に付けた力を振り返る。	★【思②】(ワークシート) ○ 読んで理解したことを基に、自分の考えを推薦カードまとめている。 ★【態①】(ノート) ○ 描写を基に、登場人物の関係や心情についての自分の考えを、進んで推薦カードにまとめようとしている。

2 単元における系統及び児童の実態

学習指導要領における該当箇所(内容, 指導事項等)				
小学校学習指導要領第5学年及び第6学年 【知識及び技能】(1)言葉の特徴や使い方に関する事項 【思考力, 判断力, 表現力等】「C読むこと」				
教材・題材の価値				
本教材は, 物語の構成がはっきりしており, 直接的に心情を描写した叙述が少なく, 会話文や動作の描写, 情景描写などから暗示的に示されている心情などを読み取っていくことに適している。				
本単元における系統(横軸を当該学年での他領域とのつながり, 縦軸を他学年での同領域のつながり)				
<div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 5年「大造じいさんとがん」 情景描写に着目し, 登場人物の心情を捉える </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 25%;"> 6年「風切るつばさ」 行動や会話に着目し, 登場人物相互の関係を捉える </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 25%;"> 6年「海のいのち」 行動や会話や情景描写に着目し, 登場人物の心情を捉える </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 25%;"> 6年「ヒロシマのうた」 行動や会話や情景描写に着目し, 自分の考えをまとめる </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 中1「飛べ かもめ」 場面の展開や情景描写に着目し, 自分の考えを確かなものにする </div> </div>				
児童の実態(単元の目標につながる学びの実態)				
■本単元を学習するにあたって身に付けておくべき基礎・基本の定着状況(H〇年全国学力・学習状況調査)(%)				
調査内容	概ね(6割~8割程度)	十分(8割以上)		
語句と語句との関係を理解することができる。	—	—		
心情などについて, 描写を基に捉えることができる。	—	—		
考えたことを推薦カードにまとめることができる。	—	—		
■本単元の学習に関する意識の状況		(%)		
調査内容	よく	まあまあ	あまり	ない
自分の考えを深めたり, 広げたりすることができていると思う。	—	—	—	—
課題解決に向けて, 自分で考え, 自分から取り組んでいたと思う。	—	—	—	—
推薦するときには, 相手の求めに応じて推薦していたと思う。	—	—	—	—
■考察 (資質・能力に関して) 語句と語句との関係を理解することは概ねできているものの, 文脈に沿った理解については, 今後も重ねて指導が必要である。描写を基に心情を読むことは不十分な状況にあるため, 一つ一つの描写に対して, 語句の理解を確認するとともに, その描写から想像される心情を対話によって他者と確認し合う学習が必要である。推薦するという言語活動の経験はあるものの, 相手の求めに応じて推薦するという意識はあまり高くなく, 相手意識を持たせる必要がある。 (学びに関して) 主体的・対話的で深い学びの視点から, 学びの状況を見ると, 課題の解決に向けて, 自分から取り組むなど, 主体的な姿がある一方で, 自分の考えを深めたり, 広げたりすることについては, あまりできていない。対話や交流の場面があることによって, 自分の考えがどのように変容したかを実感する学習が必要である。				

3 指導に当たっての留意点

- 作品の魅力を推薦文にまとめ, 伝え合うという目的意識・相手意識を明確にすることによって, 主体的に学ぶことができるようにする。
- 推薦文を書くために, 作品の魅力を見つけるポイントを明確に示し, それが読みの手がかりとなるように工夫する。
- 単元の導入時に推薦カードを書く活動を体験する場面を設けることで, 児童が言語活動の遂行に対する課題意識を持てるようにする。

4 本時の学習

(1) 目標 推薦カードにまとめるために、太一の様子の描写について着目し、瀬の主を殺したい気持ちから、海のいのちを大切にすることに変わった太一の心情の移り変わりを読むことができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	5分	<p>1 課題をつかむ</p> <p>①表現の工夫の意図など、これまでの作者の書きぶりを振り返る。 ◇これまででは色彩描写により登場人物の様子を詳しく表す書きぶりを学習したな。</p>	<p>○単元のゴールを確かめ、単元計画からめあてを設定する。</p>
		<p>【めあて】 太一の様子を表した描写から、太一の心情の移り変わりを読もう。</p> <p>②作者の書きぶりについて問いを持つ。 ◇どうして、ここだけに太一の表情が書かれているのだろう。</p> <p>【学習課題】 太一の表情の変化に着目すると、太一の心情はどのように移り変わったのだろうか。</p>	<p>○山場の場面の太一の描写について、挿絵を基にどのような表情なのかを問う。</p> <p>○「泣きそう」「ふっとほほえみ」「えがおを作った」の言葉の理解について、近隣の児童同士で確認する。</p>
展開	30分	<p>2 課題の解決に向けて活動する</p> <p>①自身の考えを持つ。 ◇表情が「泣きそう」から「えがお」に変わっているから、最後は心情が変わっているようだ。</p> <p>②他者との対話により、考えをまとめる。 ◇「ふっと」という言葉から、自然に生み出された感じがする。だから、きっと太一は、ここで「海の命」を守ることに本当に気付くことができたと思う。 ◇「作った」ということは、さっきの「ふっと」とは違って、自分でしたということを表していると思う。</p> <p>【期待される学びの姿】 太一の表情の描写に着目し、表情の変化に沿って、海のいのちを大切にしよう と移り変わる心情を想像している。</p>	<p>○「泣きそう」「ふっとほほえみ」「えがおを作った」の言葉を取り出し、それぞれにどのような心情が表されているかについて自分の考えを書くようにし、移り変わりを捉えやすくする。</p> <p>【具体的評価規準】 思① ○太一自身の描写から、太一の心情の移り変わりを捉えている。 (方法：ノート・発言)</p> <p>【到達していない児童への手立て】 ○場面の最初と最後の心情の違いを確かめ、場面の途中でどのような心情になったのかを個別に問い、考えを確かめていく。</p>
		<p>3 学習課題に対する答えをまとめ、めあてに対する振り返りをする。</p> <p>【まとめ】 太一の心情は、瀬の主を殺し、父の敵を討ちたい気持ちから、(瀬の主の姿を見て) 海のいのちを大切にしようとする気持ちに変わった。</p> <p>◇今日も作者の工夫した書きぶりから、作者が考えを持って工夫していることがよく分かった。物語の表現の工夫についても着目して、ほかの作品も読んでみたい。</p>	<p>○めあてや課題と照らして行い、課題解決の方法や学習内容をまとめる。</p> <p>○本時の学びの成果や課題とその要因、課題の改善方法等を共有する。 ○自らの学びを調整したり、新たな問いを設定したりするなど、振り返りを具体的に挙げる。</p>
終末	10分		

【板書計画】

<p>まとめ</p> <p>太一の心情は、瀬の主を殺し、父の敵を討ちたい気持ちから、(瀬の主の姿を見て)海のいのちを大切にしようとする気持ちに変わった。</p>	<p>交流</p> <p>※友だちや他のグループの考え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふっと」という言葉から、自然に生み出された感じがする。だから、きつと太一は、「こ」で、「海のいのち」を守ることに本当に気付くことができたと思う。 ・「作った」ということは、さっきの「ふっと」とは違って、自分でしたということを表していると思う。 	<p>太一の絵</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表情の変化が「泣きそう」から「えがお」に変わっている。 ・悔しかったはず、でも、笑顔になっているから、最後は心情が変わっているようだ。 	<p>クエの絵</p> <ul style="list-style-type: none"> ※自分の考えをまとめる ・表情の変化が「泣きそう」から「えがお」に変わっている。 	<p>解決方法</p> <p>※山場の場面では</p> <p>『太一の表情の描写』から読む</p> <p>「泣きそう」</p> <p>「ふっとほほえみ」</p> <p>「えがおを作った」</p>	<p>本時の学習課題</p> <p>「太一の表情の変化によって、太一の心情はどのように移り変わったのだろう。」</p>	<p>めあて</p> <p>太一の様子を表した描写から、太一の心情の移り変わりを読もう。</p>	<p>単元の学習課題</p> <p>「海のいのち」の作品の魅力を推薦カードにまとめ、伝え合おう。</p> <p>立松 和平</p>	<p>「海のいのち」(物語文)</p>
---	---	--	--	--	--	---	---	---------------------

【ICT活用計画】

教師による教材提示の計画、ICTを活用した発表、まとめ等による考えの共有の計画等

例デジタル教科書にある挿絵を電子黒板で拡大提示し、課題に迫る読み取りのイメージを共有する。

<p>クエの絵</p>	<p>【提示①】 本時の「山場の場面」を共有できるように、この挿絵を拡大提示する。</p>	<p>太一の絵</p>
-------------	--	-------------

この挿絵を、一人一人の端末(タブレットパソコン)に配付し、文章から読み取った自分の考えを直接書き込み送信することで、全体共有の場において、瞬時に電子黒板に拡大提示して、共有化を図ることができる。

※単元を通した課題である「『海のいのち』の作品の魅力を推薦カードにまとめ、伝え合おう」による作品づくりについては、伝え合う際に、共有化が図れるように、一人一人の端末(タブレットパソコン)で行う。

【適用問題等の工夫】

単元の終末では、これまで身に付けたことを生かして次の学習に取り組む

例1 ※語句と語句との関係、語句の構成や変化についての定着状況の確認

【全国学力・学習状況調査】平成〇〇年度 大問〇

【熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」】平成〇〇年度 大問〇

【課題克服プリント】平成〇〇年度提供 問題〇

例2 ※本単元で働かせた見方・考え方を生かして立松和平の他の作品や同じようなテーマを扱った物語を読み感想を書くことなども考えられる。